

# 令和元年度 事業報告

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

今年度は、「平成」から「令和」に元号が変わり、新しい時代の幕開けとなりましたが、消費税の改正や働き方改革への対応など社会情勢もめまぐるしい変化が見られました。また、記録的な猛暑日による熱中症の発生をはじめ、台風による天候不良・災害による屋外作業の遅れや新型コロナウイルス発生による公共施設の休館など、会員の就業に大きな影響を与えた年でありました。

こうした状況と共に派遣への移行が進み、本年度の契約額は286,184千円、前年対比98.4%の減額となりました。また、会員数につきましては、入会者が78名、退会者が59名あり、19名増の545名となりました。

前述したとおりセンターの運営に厳しい状況もありましたが、今年度も安全就業体制の強化、就業機会の開拓・拡大と共に福祉・家事援助サービス、子育て支援、介護保険サービスなどの推進を図り、活力ある地域づくりに貢献しました。

次に主な事業について報告します。

- 就業会員の増強、就業機会の開拓・拡大と就業率の向上に努める。
  - ✓ 入会説明会、市の広報紙、ホームページ、マスメディア等の活用及び「一人一会員入会運動」を推進し、口コミによる会員の増強を図りました。
  - ✓ 就業開拓・会員拡大推進員と共に企業訪問（市役所含む）を6ヶ所行い、就業開拓を行いました。
  - ✓ 就業のローテンション化などにより、公平な就業機会の提供に努めました。
  - ✓ 毎月求人情報を提供し、就業機会の拡大を図りました。
  - ✓ 2市1町の連携により、ハローワークにおいてシルバー人材センターの事業説明会を開催しました。（年8回）

- 普及啓発事業を推進する。
  - ✓ 草刈り及び清掃の地域奉仕作業(年 2 回)をおこない会員相互の連携を深め、シルバー人材センターの普及啓発に努めました。
  - ✓ 市主催のイベントに参加し、当センターの事業 P R 及び会員の加入促進を図りました。
  - ✓ 会員及び市民を対象に参加型講習会を開催し、シルバー事業の理解を深めました。
  - ✓ 交通安全早朝一斉街頭広報(年 4 回)に参加しました。
  - ✓ 会報「シルバー伊豆の国市」の発行(年 2 回)及び市広報・カレンダー、ホームページを活用し、会員及び市民への情報提供に努めました。
- 会員の就業意識、技能の習得を図る。
  - ✓ 会員及び市民を対象に、技能習得を目的とした「剪定講習会」を計 2 日、「子育て支援講習会」を計 6 日開催し、26 名が受講しました。
- 安全就業対策と健康管理に努める。
  - ✓ 動画 KYT 研修の自動車安全運転講習会に、20 名の会員が参加しました。
  - ✓ 就業前の「KY チェックシート」の活用や安全就業推進標語の募集、表彰を行い、安全意識の高揚を図りました。
  - ✓ 安全就業委員会が抜打ち安全パトロールを 3 日間実施し、就業の実態調査による改善策の検討を行い、会員の事故防止に向け取り組みを行いました。
  - ✓ 会員への配分金通知に健康に関するチラシを配布し、市健康診断の受診を奨励しました。
- 福祉・家事援助サービスを推進する。
  - ✓ 人手不足分野である「子育て支援講習会」の開催及び特別養護老人ホームの訪問などを通じ、女性会員の加入促進を図りました。
- 財政基盤の強化と事務局機能の効率化を推進する。
  - ✓ 就業機会の開拓・拡大を行い、受託収益の増加に努めました。
  - ✓ 職員会議を開催し、歳出抑制や事務の効率化に向けた協議を行い、経常経費等の削減に努めました。